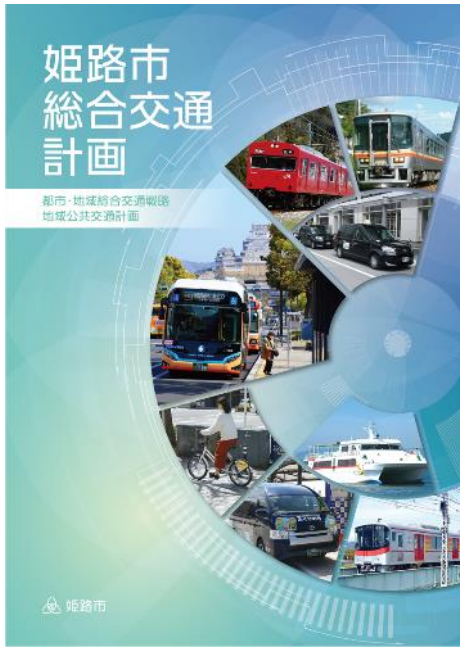


姫路市総合交通計画の事業評価について

2025年(令和7年)6月26日

姫路市 都市局 交通計画部 地域公共交通課

【計画の概要】

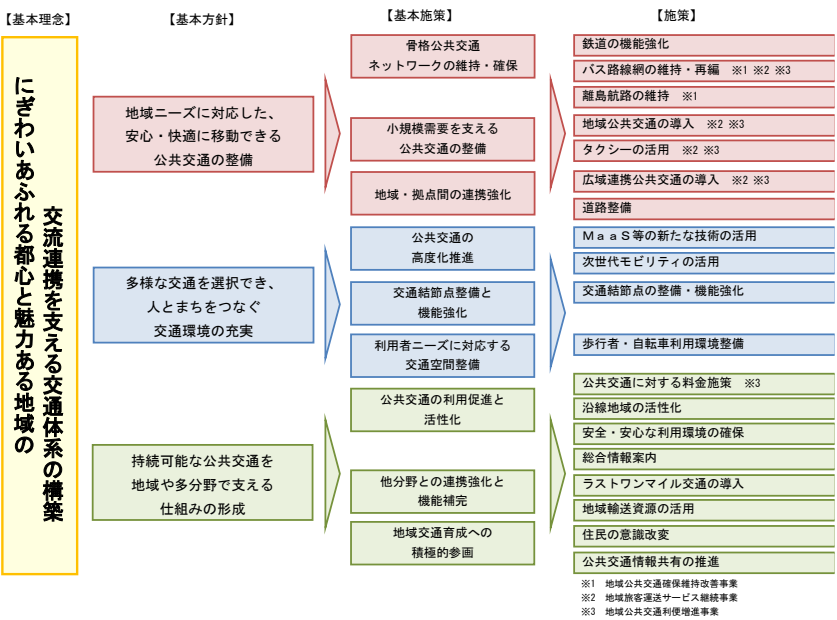


策定年月
令和3年7月

計画期間
令和3年度～令和12年度(10年間)

基本理念
にぎわいあふれる都心と魅力ある地域の
交流連携を支える交通体系の構築

基本方針等
基本理念などを実現するための
3つの基本方針や9つの基本施策、
19の施策、41の事業 を展開



計画の数値目標・評価

計画全体の数値目標 ☞ 毎年進捗を管理

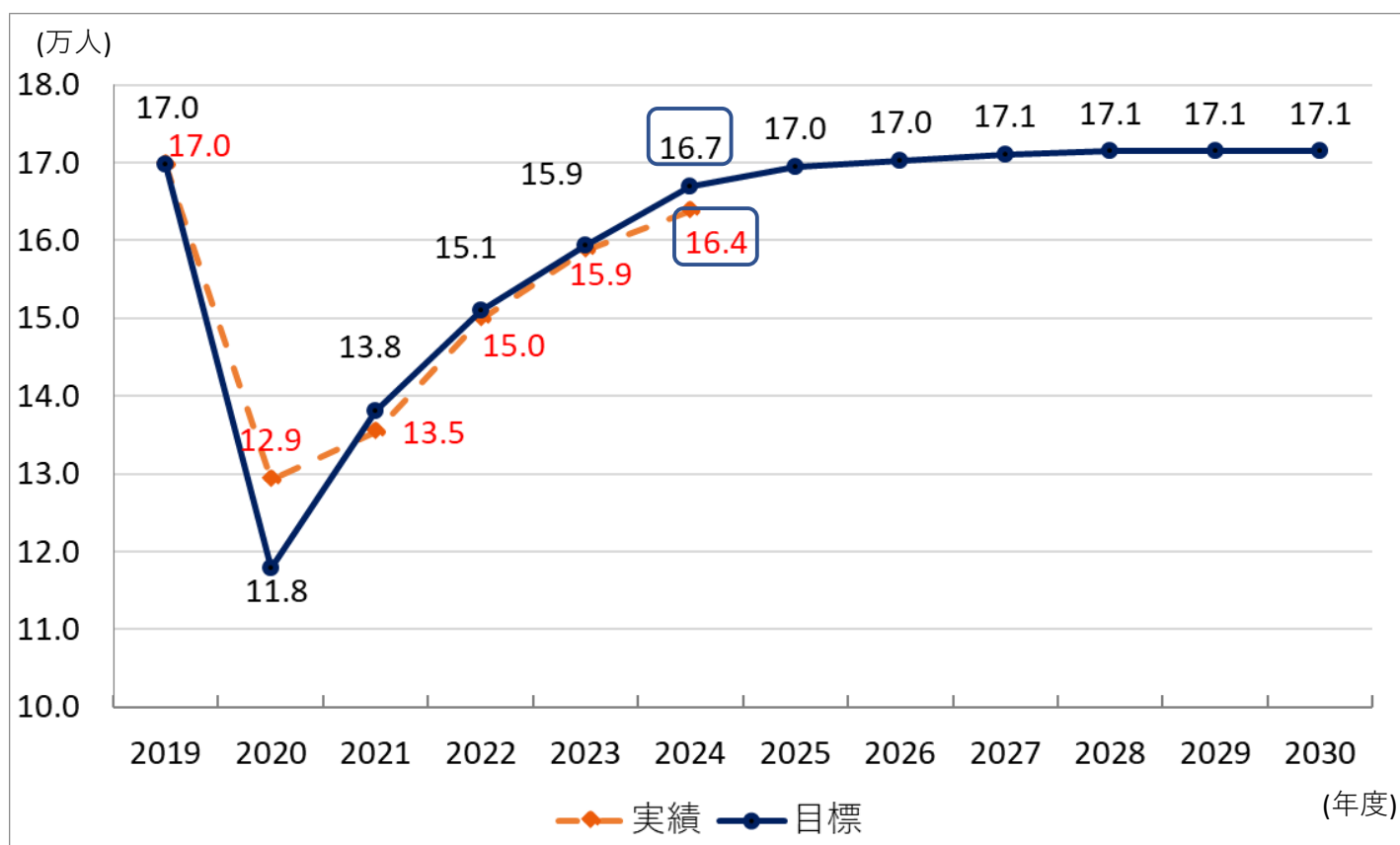
- ・ 1日当たりの公共交通利用者数（鉄道・バス・旅客船）
- ・ 公的資金が投入されている公共交通の収支率
- ・ 市民1人当たりの公共交通への公的資金投入額（上限額）

基本方針の数値目標 ☞ 3年に1度の進捗管理（R9年度に評価）

- ・ 公共交通空白地域・不便地域面積の減少率
- ・ 公共交通利用満足度

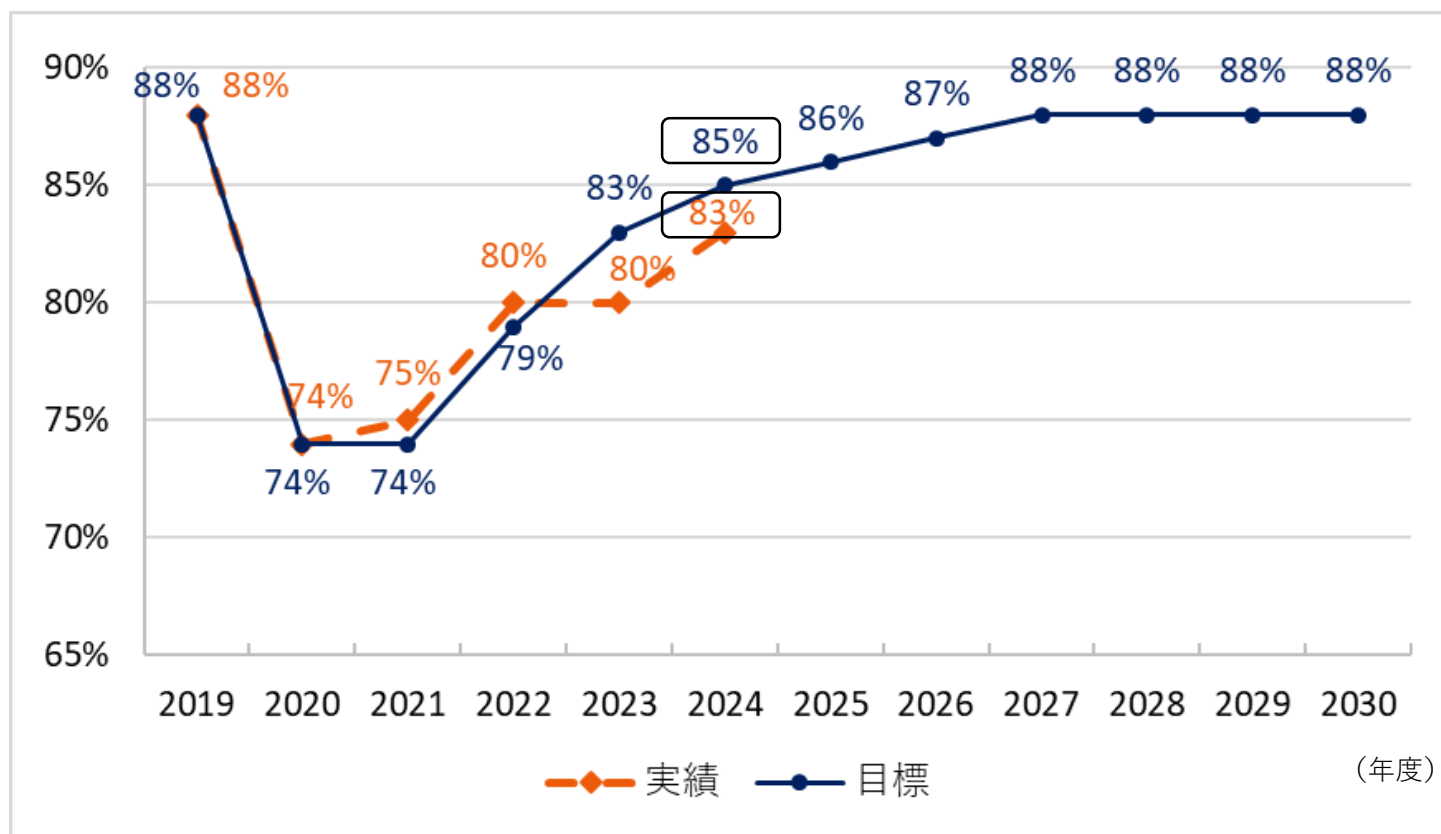
1日当たりの公共交通利用者数(鉄道・バス・旅客船)

17万人 ⇒ 17万人 ⇒ 17.1万人
 (2019年度現在) (2025年度目標) (2030年度目標)



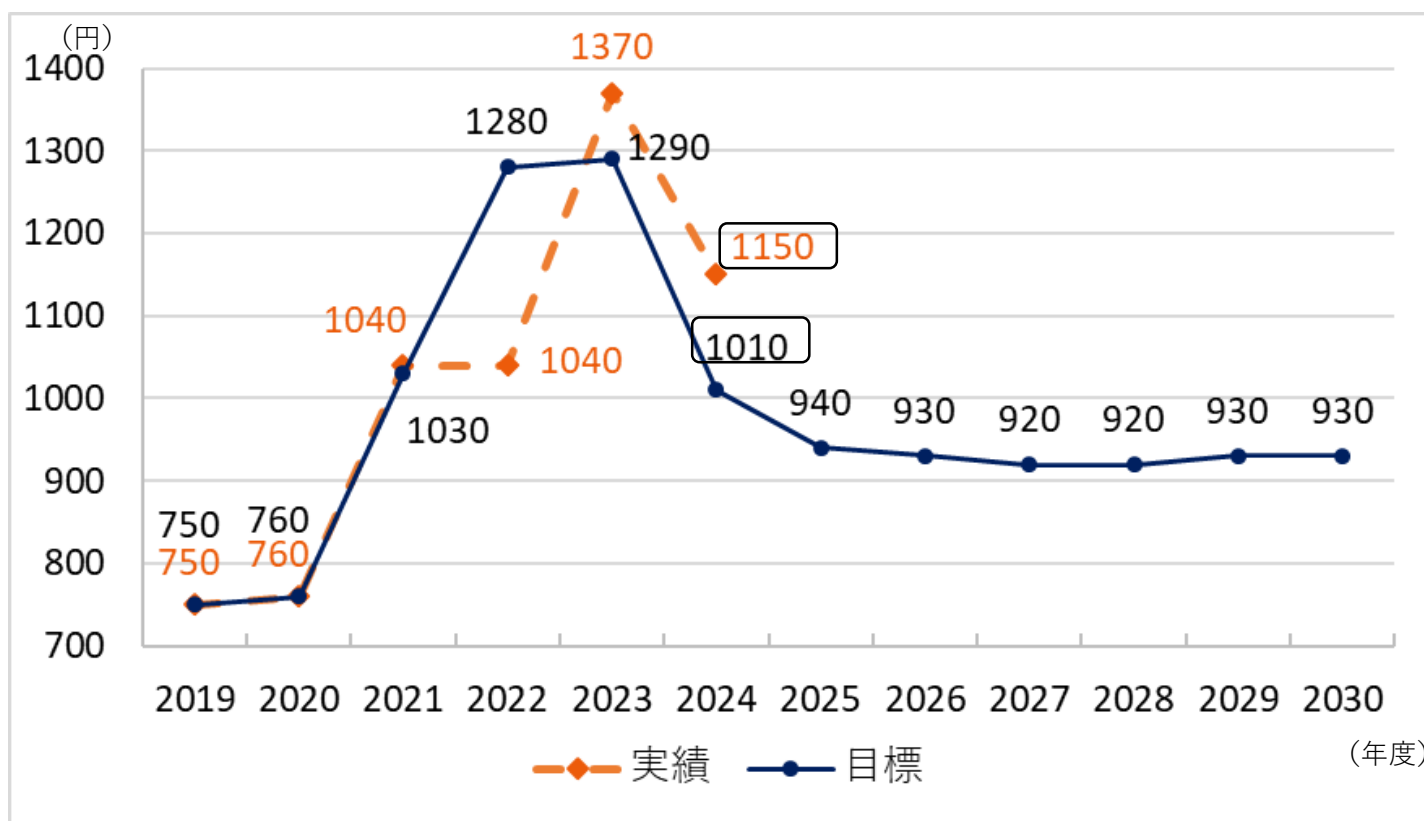
公的資金が投入されている公共交通の収支率

88% ⇒ 88%
 (2019年度現在) (2030年度目標)



市民1人当たりの公共交通への公的資金投入額(上限額)

750円 ⇒ 940円 ⇒ 930円
 (2019年度現在) (2025年度目標) (2030年度目標)





令和6年度 事業評価(抜粋)

① 鉄道駅周辺整備

【S】

多様な移動手段での交通アクセス性の向上とともに、人の交流やまちの賑わいを促進する空間の確保に向けた交通結節点の整備・機能強化を図る。

事業成果

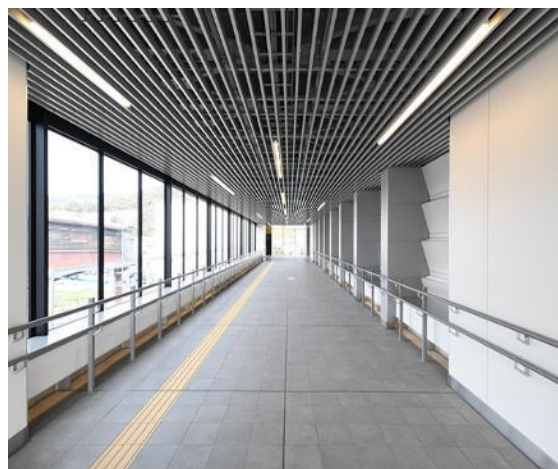
- ・JR英賀保駅の北改札口及び自由通路の整備が完了し、安全性及び利便性が向上した。
- ・山陽電鉄夢前川駅の駅舎のバリアフリー化、南改札口及び駅前広場の整備が完了し、安全性及び利便性が向上した。

JR英賀保駅

北改札口



自由通路



令和7年3月供用開始

山陽電鉄夢前川駅

駅舎・駅前広場



令和6年10月供用開始

【令和6年度事業評価】

② 地域公共交通の導入 【S】

公共交通空白・不便地域において、地域住民や交通事業者と共に地域公共交通の導入を目指すとともに、導入後は持続性の高い運行を図っていく。

事業成果

- ・社会実験として、既存のコミュニティバス雪彦の空き時間を利用しコストを抑えて、コミュニティバス溝口お買い物便を導入したところ、利用者数が目標(2人/便)の2倍(4人/便)を達成できている。
- ・高木地域デマンド型乗合タクシーにおいて、利用ニーズに合わせ運行曜日等を見直したことにより、平均乗車人員の目標値(1.5人/便)を達成した上、2.0人/便まで上昇した。
- ・家島、坊勢のコミュニティバスの車両更新に合わせ、島内小学生や姫路工業高校の生徒のデザインによるラッピング車両を各1台導入し、利用促進を図った。

コミュニティバス
溝口お買い物便

令和6年10月～
運行開始

ラッピング
車両の運行家島・坊勢
コミュニティバス

令和6年12月の
出発式の様子

③ サイクル&バスライド 【A】

バス停留所への自転車等でのアクセス向上のため、利用者が多いバス停等において駐輪場の整備を進める。

事業
成果

- ・マックスバリュの既存駐輪場を活用したサイクル&バスライドを新規2店舗で実施し、合計9店舗で展開している。
- ・新たに協定を締結したスギ薬局の店舗駐輪場でのサイクル&バスライドを開始した。

令和6年度 実施店舗

マックスバリュ町田店



マックスバリュ南今宿店

スギドラッグ 姫路飾磨店



